

改定にあたって



金沢市では、平成27年度、本市生涯学習の第3次計画となる「金沢市生涯学習振興基本計画」(計画期間:平成28年度~令和7年度)を策定し、市民と行政がともにめざす5つの学びの姿を掲げ、生涯学習の振興に努めてまいりました。

計画の策定から5年が経過し、人々のライフスタイルは人口減少や社会のグローバル化、ICTの発展等に伴い大きく変化しており、人生100年時代や超スマート社会 (Society5.0)の到来など、社会の変化や課題を踏まえた、新たな行政の対応が求められています。

また、令和2年に世界規模で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症は、生涯学習・社会教育のあり方にも大きな影響を与え、学習活動への制約が生じる中、学びを止めないことの重要性が共有されるとともに、ICTなどの新しい技術を活用した、新たな学びの可能性も示されています。

これらのことから、教育を取り巻く状況の変化を踏まえつつ、計画期間後半(令和3年度~令和7年度)における本市生涯学習の一層の振興を図るため、3つの新たな視点「人生100年時代の到来を踏まえた、生涯にわたり学び続け、活躍できる環境づくり」「多様な主体の学びの促進」「人づくり・つながりづくり・地域づくりの推進」を踏まえ、「金沢市生涯学習振興基本計画」を改定いたしました。

今後は、市民の皆様、企業や関係団体等の方々と連携・協力し、多様で豊かな学びや、 つながりによる新しい時代の生涯学習に向けて、本計画による施策の推進と生涯学習の 振興に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、多大なご尽力をいただきました社会教育委員の皆様 をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただいた市民の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

金沢市教育委員会





目次

改定にあたって

第	章 金沢市生涯学習振興基本計画の改定の趣旨	İ
1	改定の背景と目的	2
2	計画の位置づけ	4
3	計画期間	4
第	2 章 生涯学習を取り巻く現況	
	社会経済情勢	5
2	国等における生涯学習の動向	7
3	金沢市における生涯学習の現状と課題	9
第	3 章 金沢市生涯学習振興基本計画の基本的な考 基本理念	え 方 11
2	めざす学びの姿	11
3	基本的方向性	12
4	改定版における新たな視点	12
5	取り組むべき施策の方向性	16
第	4章 金沢市生涯学習振興基本計画の推進体制	
	推進体制	26
2	評価と見直し	26

参考資料

1	生涯学習に関するニーズ	28
2	金沢市民アンケート調査	32
3	生涯学習関連団体等への聞き取り調査	39
4	金沢市生涯学習振興基本計画改定の経緯	41
5	金沢市社会教育委員名簿	41



金沢市生涯学習振興基本計画の 改定の趣旨

改定の背景と目的

本市では、平成27年度、今後10年間で実現したい人々の生涯学習の姿を示し、そのための施策等を 「金沢市生涯学習振興基本計画」(平成28年度~令和7年度)として策定しました。

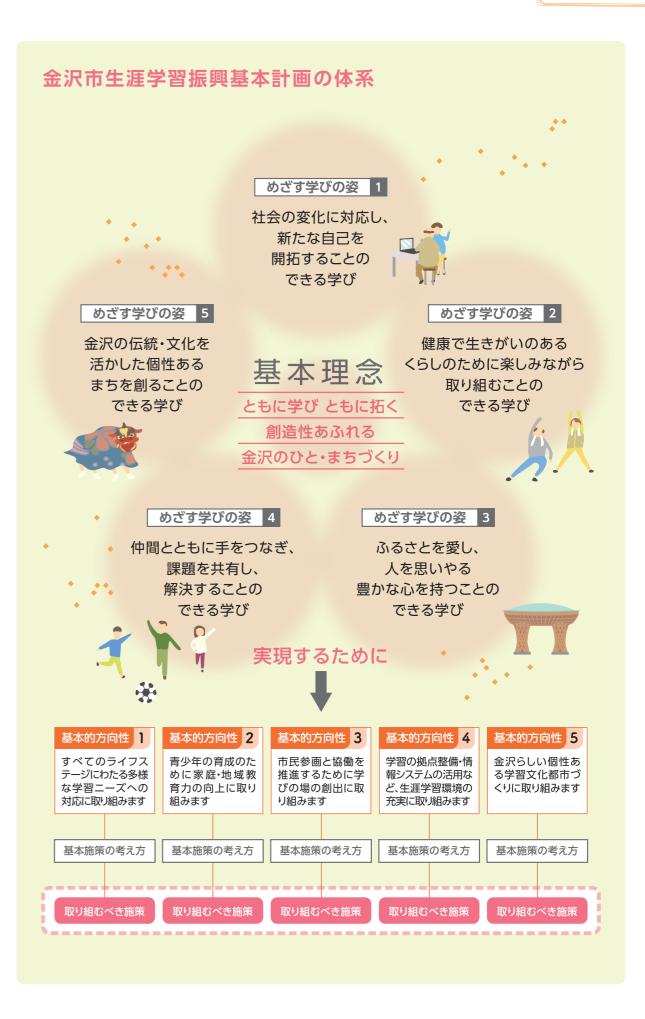
計画の策定から5年が経過し、本市でも少子高齢化による人口減少、地域コミュニティの希薄化が進 み、グローバル化の進展や、超スマート社会 (Society5.0) *1に向けたインターネットやAI*2等の技術 革新の進展など、社会状況が大きく変化しています。また、「人生100年時代」の到来により、すべて の人が生涯学習を通じて、すべてのライフステージにおいて学び続け、学んだことを活かして活躍でき る社会の構築が求められています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、人々の生活様式や意識の変化をもたらし、新た な学習手段や学習機会の提供など、生涯学習のあり方にも大きな影響を与えています。

このような社会状況の変化に対応して、これからも人々が生涯にわたり学び続け、自らの学びの成果 を人づくり・地域づくりにつなげるためには、新たな施策の展開が必要となっていることから現計画の枠 組みを維持しつつ、取り組むべき施策について改定を行います。



^{*&}lt;sup>1</sup> 超スマート社会 (Society5.0) / サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題 の解決を両立する、人間中心の社会のこと。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類社会発展の歴史における5番目の姿として位置



^{*&}lt;sup>2</sup> Al/Artificial Intelligence の略。人工知能

第2章

生涯学習を取り巻く現況

社会経済情勢

(1)人口動態·年齢構成

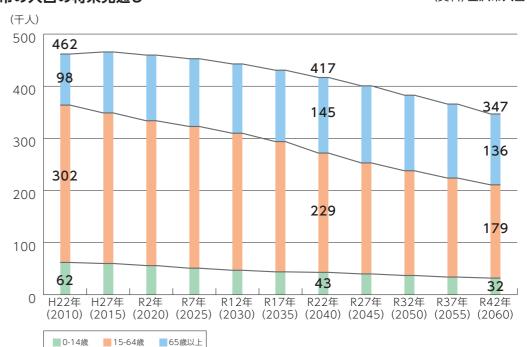
我が国の人口は、平成20(2008)年をピークに減少局面にあり、出生率の低下や平均寿命の伸長に より、少子高齢化が一層進んでいます。

本市における人口は、平成30(2018)年以降は減少となっており、将来的にも減少が進み、国の傾 向と同様に、少子高齢化が一層進むことが予測されています。

このような状況は、生産年齢人口*3の減少、税収の減少及び社会保障費の増大などにつながり、市 民の生活や経済に大きな影響を及ぼす恐れがあります。

金沢市の人口の将来見通し

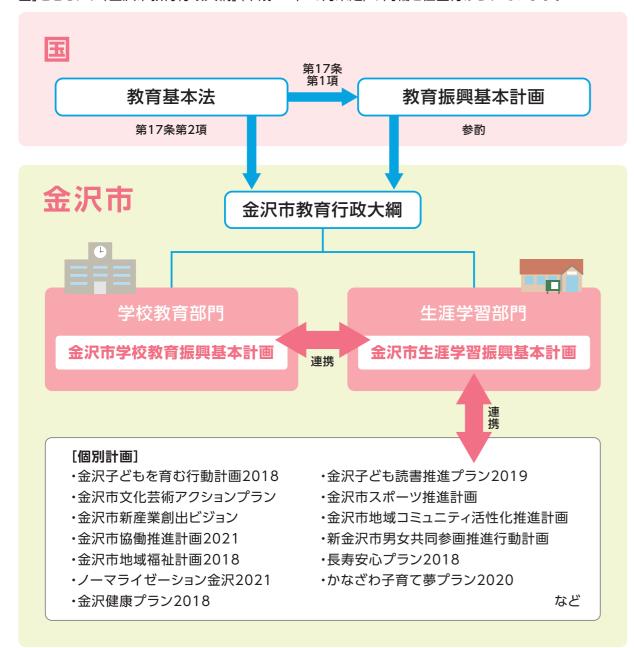
〈資料〉金沢市人口ビジョン



*3 生産年齢人口/15歳から64歳までの人口

計画の位置づけ

「金沢市生涯学習振興基本計画」は、「金沢市民憲章」(昭和54年5月)の理念に基づき、本市における 生涯学習の振興を図るための計画 (第3次計画) であり、学校教育部門の [金沢市学校教育振興基本計 画」とともに、「金沢市教育行政大綱」(平成27年10月策定)の両輪と位置付けられています。



計画期間

本改定版は、平成27年度に策定した「金沢市生涯学習振興基本計画」(平成28年度~令和7年度)に おける計画期間の後期に取り組むべき施策の見直しを行ったものであり、計画期間を令和3年度から令 和7年度とします。

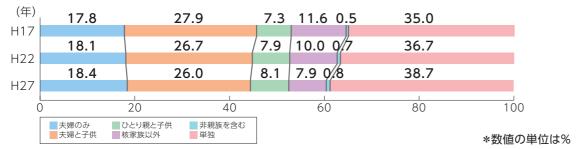
(2)家族形態と地域社会

本市における一般世帯を家族類型別にみると、夫婦と子供から成る核家族の世帯や3世代世帯が減 少傾向にある一方で、単独世帯が増加傾向にあります。

こういった家族形態の変化による、子供たちと関わる地域住民の減少、また、共働き世帯の増加や 価値観の多様化の影響も含め、地域における人と人のつながりや支え合いの希薄化、家庭や地域の教 育力の低下が指摘されています。

金沢市における一般世帯の家族類型別割合の推移

〈資料〉金沢市、総務省「国勢調査」



(3)社会•経済状況

技術革新による社会の変化

2030年頃には、第4次産業革命*4とも言われる、ビッグデータ*5やAI、IoT*6をはじめとする技術革 新が一層進展し、社会や生活を大きく変えていく超スマート社会(Society5.0)の到来が予想されてい ます。技術革新の進展により、今後10~20年後には我が国の労働人口の相当規模が技術的にはAIや ロボット等に代替できるようになる可能性が指摘されている一方で、これまでになかった仕事が新たに 生まれることが考えられています。

また、国全体でデジタル化*7の取り組みが進む中、生涯学習・社会教育においても、ICT(情報通信技術) 等新しいテクノロジーを活用して、学びの可能性を拡げる取り組みを進めていくことが期待されています。

人生100年時代への移行

医療体制の充実、医学の進歩、生活水準の向上等により、平均寿命は著しく伸長し、人生100年時 代*8と言われる時代を迎え、これまでの「教育―仕事―引退」という3ステージの単線型の人生ではなく、 より多様で豊かな生き方・暮らし方のマルチステージ*9の生き方が志向されるようになっています。

人生100年時代においては、一人一人がその可能性を最大限に引き出し、豊かな人生を送ることが できるよう、誰もがあらゆる機会に学び続けることができる環境づくりが求められており、生涯学習の 重要性は一層増しています。

グローバル化の進展

あらゆる場所でグローバル化は加速し、世界の国々の相互影響と依存の度合いは急速に高まってい ます。貧困や紛争、感染症や環境問題、エネルギー資源問題等、地球規模の人類共通の課題が増加 する中、こうした課題を解決するため、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」において、2030 年に向けた国連加盟国共通の目標として、「持続可能な開発目標(SDGs*10)」が採択され、国や企業、 地方公共団体などの全ての主体が取り組むとされています。

本市においても、令和2年7月に内閣府から[SDGs未来都市*11]に選定され、持続可能なまちづくり を念頭においた施策の展開や、SDGsの達成に向けた取り組みを推進していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大

新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を奮い、さまざまな活動が制限されるなど、教育面にも

大きな影響を与えています。

社会全体が長期間にわたり感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ち、生涯学習 においては、万全の感染症対策を講じつつも、市民の豊かな学びを推進していくこととの両立を図って いくことが重要になっており、日々刻々と変わる状況や国の動向を注視しながら、本市においても、生 涯学習活動を柔軟かつ効果的に進めていく必要があります。

国等における生涯学習の動向

(1)国の動向

①中央教育審議会

「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための 教育の多様化と質保証の在り方について(答申)」(平成28年5月)

「一億総活躍社会*12の実現や、学び続ける社会の実現が重要である」こと、更に「生涯学習によ る可能性の拡大、自己実現及び社会貢献・地域課題解決に向けた環境整備について が示され、一 人一人の生涯を通じた学習の成果の適切な評価・活用のための環境整備について提言されました。

また、今後の施策の方向性として、「各課題に対応する多様な学習機会を充実し、一人一人の可 能性を高めていくこと」、「学習した成果が適切に評価され活用につなげられる環境を整備するこ と」を両輪ですすめることにより、「学び」と「活動」の循環の形成が重要であることが示されました。

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」(平成30年12月)

今後の地域における社会教育の在り方について、「社会教育を基盤とした、人づくり、つなが りづくり、地域づくり| の重要性を示すとともに、新たな社会教育の方向性を 「開かれ、つながる 社会教育の実現」と提示しました。また、今後の社会教育施設については、学習の拠点としての 役割に加え、住民主体の地域づくり、持続可能な共生社会の構築に向けた取り組みなどの役割 が求められています。

「多様な主体の協働とICTの活用で、つながる生涯学習・社会教育~命を守り、誰一人として 取り残すことのない社会の実現へ | 第10期中央教育審議会生涯学習分科会議論整理(令和2年10月)

人生100年時代や、Society5.0などの社会の変化や課題、新型コロナウイルス感染症への対 応などを踏まえた、新しい時代の生涯学習・社会教育の在り方についての議論を取りまとめまし た。今後の施策の展開に向け、3つのキーワードを提示しています。

- キーワード ① 「命を守る」生涯学習・社会教育
 - 2 ICT活用、デジタル・ディバイド*¹³解消
 - 3 子供・若者の地域・社会への主体的な参画
- *⁴ 第4次産業革命/ロボット工学、人工知能 (AI) 、ブロックチェーン (仮想通貨)、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、量子コンピュータ、生物 工学、モノのインターネット(IoT)、3Dプリンター、自動運転車、仮想現実、拡張現実、複合現実などの多岐に渡る分野においての新興の技術革新
- ビッグデータ/大量で、多種·多様なデータ、並びにそれらのデータを許容できる時間内に効率的に収集·蓄積·処理·分析し、活用するための技術のこと *6 IoT/Internet of Thingsの略。様々なものがインターネットに接続し、情報をやり取りすること
- *⁷ デジタル化/IT の進化により様々なヒト・モノ・コトの情報がつながることで、競争優位性の高い新たなサービスやビジネスモデルの実現や、プロ ヤスの高度化を実現すること
- ^{*8} 人生100年時代/これまでのような年齢による「教育・労働・老後」という区分が曖昧になり、学び直し、転職、長期休暇の取得等人生における選択肢が多様化する時代 *⁹ マルチステージ/人生100年時代に向けた新たな人生戦略として、転職や副業、ボランティア活動などの複数のキャリアを持ち、多様な人生を歩むこと
- *¹⁰ SDGs/Sustainable Development Goalsの略。気候変動、エネルギー、まちづくり、生産者・消費者責任、水環境保全、ジェンダー、貧困等、 持続可能な社会の形成に向けた17の目標(ゴール)と169の取組(ターゲット)から構成されている
- 「SDGs未来都市/SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の3側面における新しい 価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、国が選定するもの
- *¹² 一億総活躍社会/年齢や性別、障害の有無に関係なく、誰もが家庭や職場、地域で生きがいをもって充実した生活を送ることができる社会
- *¹³ デジタル・ディバイド/IT、特にインターネットの恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差。通常「情報格差」と訳される

2社会教育法の改正

平成29年4月社会教育法の改正により、社会教育行政は学校、家庭、地域住民等の連携、協 力の促進に努めることを規定したほか、市町村の教育委員会の事務に、家庭教育関係情報の提 供、情報化の進展に対応した仟務等が加えられました。

8第3期教育振興基本計画

平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」では、2030年以降の社会を展望し た教育政策の重点事項として、第2期教育振興基本計画に掲げた「自立」「協働」「創造」の3つの 方向性を継承しつつ、「人生100年時代」と「Society5.0」の到来に向け、教育を通じて生涯にわ たる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを掲げました。そして、「夢と志を持ち、 可能性に挑戦するために必要となる力を育成する |、「生涯学び、活躍できる環境を整える」など、 教育政策の5つの基本的方針と、平成30年度から5年間における教育目標を示しました。

(2)第3期石川の教育振興基本計画

石川県では第2期石川の教育振興基本計画が、計画期間の5年目を迎えることから、この間の社会情 勢の変化や新たな課題に対応するため、令和3年3月、令和3年度から令和7年度の5年間における教 育の目指す姿と施策の展開の方向性を示す「第3期石川の教育振興基本計画」を策定しました。

1. 基本理念「未来を拓く心豊かな人づくり」

2. めざす人間像

- ・ふるさとに誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人間
- ・生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ・責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ・健康や体力の増進に努める、活力ある人間

3. 基本目標

- ・いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材を育成します
- ・学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力を育成します
- ・豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくりを推進します
- ・信頼される質の高い学校づくりを推進します
- ・高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します
- ・社会全体で家庭や地域の教育力の向上を推進します
- ・生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します
- ・ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します

金沢市における生涯学習の現状と課題

(1)金沢市の取り組み

本市においては、平成28年度に家庭教育振興室を設置し、同年度策定した「家庭教育推進プログラ ム」に基づき、教育の出発点である家庭と地域の教育力の向上に取り組むほか、令和元年度には、青 少年が主体的に学び、他の世代や地域などと交流する新たな拠点として、「長土塀青少年交流センター」 を開設しました。

また、中央公民館や地域教育の拠点である地区公民館の学習環境整備の充実をはじめ、キゴ山ふれ あい研修センターにおいては、平成29年度の国立天文台との天文学の普及啓発及び教育活動に関す る協定締結や、プラネタリウム機器の更新を契機とした宇宙教育の推進、豊かな自然環境を活かした 里山教育・里山交流の推進に取り組んでいます。

図書館においては、平成28年度に市民とともに学び続けるまち「金沢」をつくる新たな図書館のあり 方を探求するため、図書館機能の充実検討に取り組み、「館外サービスの拡大」「使える場づくり」「市民 協働の推進|「連携促進|「交流促進|などのテーマに基づく施策を展開するほか、平成30年度には「金沢 子ども読書推進プラン2019」を策定し、全館において、乳児期から絵本に親しみ、親子の絆を育む環 境を整え、読書習慣の定着を支援する取り組みを行っています。

(2) 牛涯学習の課題

本計画の改定にあたり、市民の「生涯学習」に対する意識を把握するため、金沢市e-モニター*14を対象 とした生涯学習に関する市民アンケート調査及び生涯学習関連団体等への聞き取り調査を行いました。

市民アンケートの結果から顕出された生涯学習に対するニーズや、生涯学習を取り巻く現況及び聞き 取り調査の結果から、本市における生涯学習の課題について、本計画の5つの基本的方向性ごとに整 理すると次のように考えられ、今後の取り組みへの対応が必要となっています。





¹⁴ 金沢市e-モニター/登録した市民が、パソコンや携帯電話からインターネットと電子メールを利用して、市からのアンケート調査に回答するもの。 市の施策についての意見を伺い、市政運営の参考とすることを目的としている

金沢市生涯学習振興基本計画の 基本的な考え方

平成27年度に策定した計画は、「基本理念」と「金沢市民憲章」が提唱する5つの目標を、学習文化都 市金沢*17にふさわしい「めざす学びの姿」として示すとともに、それを踏まえた「基本的方向性」を示しま

改定版においては、本市における生涯学習の課題を踏まえ、「基本的方向性」ごとに示した「取り組む べき施策 | について改定を行います。

基本理念

ともに学び ともに拓く 創造性あふれる 金沢のひと・まちづくり

めざす学びの姿

| めざす学びの姿 1 社会の変化に対応し、新たな自己を開拓することのできる学び

市民の誰もが、新しい物事への関心を持ち、生涯を通じて、新たな自己を発見・ 開拓していくことのできる「学び」です。

| めざす学びの姿 2 健康で生きがいのあるくらしのために楽しみながら取り組むことのできる学び 市民一人一人が、いきいきと明るく活力に満ちた、生きがいのあるくらしの実現 に向かって、楽しさを感じながら取り組むことのできる「学び」です。

- | めざす学びの姿 3 ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を持つことのできる学び
 - 次代を担う青少年を含む市民と地域社会が一体となって、ふるさとの自然や 文化を愛し、人を思いやる豊かな心を育むことのできる「学び」です。
- |めざす学びの姿||4||||仲間とともに手をつなぎ、課題を共有し、解決することのできる学び| 市民が個人の学習や地域活動、ボランティア活動等で得た成果を共有しあ い、共通の課題に向かって協力し、解決につなげていくことのできる「学び」です。
- | めざす学びの姿 5 金沢の伝統・文化を活かした個性あるまちを創ることのできる学び 金沢の伝統・文化に、新たな息吹を注ぐことで、個性豊かな未来の金沢を創造 していくことのできる「学び」です。

学習文化都市金沢/金沢の風格ある学びの風土と豊かな学びの資産を活かし、市民が、自分自身の目的にそって主体的に活動し、充実した人生を 送ることができ、また、学びの成果を行政と協力、協働して地域づくりやまちづくりへとつなげるなど、魅力ある生涯学習のまち「金沢」の実現を

生涯学習の課題

すべてのライフステージにわたる多様な学習ニーズへの対応

- ・「学び直し」や「リカレント教育*15」に向けた取り組みの不足
- ・アクティブシニア*16の活動に対する支援
- ・社会教育関係団体における参加者の固定化や高齢化
- ・金沢SDGsの取り組みへの対応

青少年の育成のための家庭・地域教育力の向上

- ・地域と学校の連携・協働活動に携わる人材の養成や研修の不足
- ・経済的・文化的等様々な要因からなる学びへのアクセス格差への対応
- ・体験、経験不足の深刻化
- ・青少年の社会的マナーの低下
- ・学生と地域社会を結び付ける取り組みの不足

市民参画と協働を推進するための学びの場の創出

- ・地域活動の担い手の不足
- ・学びの場を通じた住民相互のつながりの希薄化
- ・社会教育団体、企業、NPO、学校等の多様な主体同士の連携不足

学習の拠点整備・情報システムの活用など、生涯学習環境の充実

- ・多様なニーズに応じた学習情報の提供や発信手法の不足
- ・役割や機能の増加に対する社会教育施設の対応
- ・デジタル化の進展に対応した学習機会、学習活動の不足
- ・デジタル化に対応できないことによる学びの格差拡大

金沢らしい個性ある学習文化都市づくり

- ・金沢の建築や文化等資源の学習への活用不足
- ・若い世代の伝統文化の体験不足
- ・外国人住民と関わる機会と異なる文化や習慣を知る機会の不足









^{*15} リカレント教育/就職してからも、生涯にわたって教育と他の諸活動 (労働、余暇など) を交互に行うこと

 $^{^{*16}}$ アクティブシニア/趣味やスポーツなどの活動、これまでの知識や経験を活かした地域活動やボランティア活動、就労など様々な活動に意欲的に

「めざす学びの場」を踏まえて本市が取り組むべき施策の基本的方向性です。

基本的方向性 1 すべてのライフステージにわたる 多様な学習ニーズへの対応に取り組みます

基本的方向性 2 青少年の育成のために家庭・地域教育力の向上に取り組みます

基本的方向性 3 市民参画と協働を推進するために学びの場の創出に取り組みます

基本的方向性 4 学習の拠点整備・情報システムの活用など、 生涯学習環境の充実に取り組みます

基本的方向性 5 金沢らしい個性ある学習文化都市づくりに取り組みます

改定版における新たな視点

本市における生涯学習に対するニーズへの対応、課題解決のために必要な視点は次の3つです。

①人生100年時代の到来を踏まえた、 生涯にわたり学び続け、活躍できる環境づくり

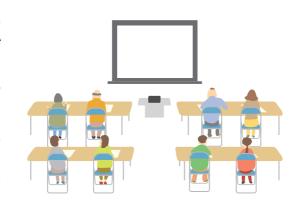
人生100年時代にも市民一人一人が豊かに生きていくた めには、生涯にわたり学び続けられ、それぞれの資質や能 力、可能性を最大限引き出すことのできる環境の整備が求 められます。その際、AIやIoTの進展等の急速な技術革新 によって到来する、「Society5.0」という新たな時代の良さ を学びの環境にも取り込みながら、急速な社会の変化に対 応できるようにすることも必要です。



②多様な主体の学びの促進

本市は伝統芸能から科学、スポーツまで、重層的で多 彩な文化を育んできました。この地域における豊かな学び を今後も推進するためには、行政や社会教育団体、企業、 NPO、学校等の多様な主体が連携・協働し、ともに学び合 うことが求められます。

また、従来のつながりだけでなく、地域と企業、NPOと 学校といった多様な主体同士の新たなつながりを創出する ことで、地域全体で教育力を向上・充実させ、地域課題の 解決等のまちづくりにつなげる学びの促進が必要です。

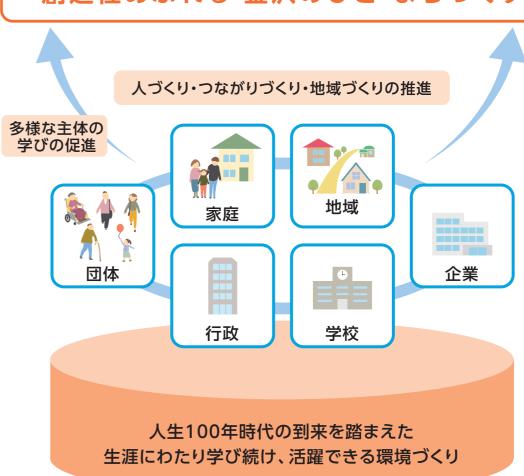


③人づくり・つながりづくり・地域づくりの推進

市民が主体的に学びの場に参加し、学びの過程を通じた 個人の成長や自己実現が、前向きな地域の活力を生む「人 づくり」、学びの場を通じて、つながり意識や相互承認の関 係を構築することにより、地域の人の顔が見える生き生きと したコミュニティの基盤を形成する「つながりづくり」、そし てつながりの中で、地域が抱える様々な課題の解決に主体 的に取り組もうとする人々を生む[地域づくり]を意識し、「人 づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」による学びと活動 の好循環が必要です。



ともに学び ともに拓く 創造性あふれる 金沢のひと・まちづくり



3章



金沢市生涯学習振興基本計画改定の概要

表記について 📌 重点施策 🔘 デジタル社会に対応した施策

基本的方向性	基本施策の考え方	新新たな施策	圏 改定した施策
すべての ライフステージにわたる 多様な学習ニーズへの 対応に取り組みます	 地区公民館等における持続可能な社会づくりに向けた学習の推進 自主的な学習及び読書活動の推進 職業観の醸成や新産業創出に資する学習機会の提供 自己を高めるための学び直しへの支援 スポーツ活動の充実(金沢市スポーツ推進計画の具現化) 心と身体の健康づくりに関する学習の推進 障害のある人、高齢者、働く世代、子育て世代にも学びやすい機会の提供 	 ・金沢SDGs[5つの方向性]の実現に向けた学習機会の充実 ・学び直しの意欲を実践につなげるきっかけづくり ・ライフプランの見直しにかかる学習機会の提供 ・アクティブシニアの活動支援 	・公民館職員を対象とした研修の充実 ・地域人材の育成と公民館運営への参画 ・企業などと連携した新産業の創出につながる学習の実施 ・社会人が職業に必要な知識や技術を学べる機会の提供 ・こころの健康づくりやフレイル予防事業の充実 ・誰もが利用しやすい学習の場づくり
青少年の育成のために 2 家庭・地域教育力の向上に 取り組みます	1 青少年の主権者教育の推進 2 地域で子どもを育てる意識向上活動への支援 3 地方創生に向けた学生と若い世代の社会参画の推進 4 ふるさとの自然や社会、文化、偉人に関する学習活動の推進 5 人権教育など他を思いやる心を育む学習の推進 6 学校、家庭、地域の連携促進による協力体制の推進 7 子ども読書活動の推進 8 「めざすべき金沢の子ども像」の実現に向けた家庭教育の推進	 ・青少年の都市間交流の推進 ・青少年の夢を実現するための 仕組みづくり ・青少年活動(子ども会、青年団な ど)の活性化に向けた支援 ・様々な学びの格差解消に向けた 支援 	 ☆ ・発達段階に応じたシチズンシップ教育の推進 ☆ ・地域の子供が地域で安心して学び、遊ぶことができるよう、地域の住民、組織が連携した見守りを推進 ・心のユニバーサルデザインの推進 ☆ ・地域学校協働本部を中心とした連携体制の構築 ・「金沢子どもかがやき宣言」の具現化に向けた家庭教育の推進 ☆ 家庭、地域、学校、企業、行政の各主体における子ども読書活動の促進 ・玉川こども図書館の再整備
市民参画と 協働を推進するために 学びの場の創出に 取り組みます	 1 市民の学びの成果の活用とボランティア活動の奨励 2 市民主体の学習による地域課題解決力の育成 3 地域コミュニティ活動への支援 4 NPO、企業や市民と行政の協力・協働関係の構築 5 地域づくり・まちづくりに関する学習の機会の提供 	・地域の各種団体の連携促進 ・気軽に地域活動に参加できる仕組みづくり ・地域の防災意識高揚に向けた 学習機会の提供 ・地域活動の担い手育成	 ・ボランティア活動の機会の提供や活動への支援 ・地域活動に関する情報発信の強化 ・各団体の活動を総合的にコーディネートする体制の充実 ・NPO、企業や市民との連携による事業の拡充 ・福祉、環境、教育、まちづくりなどの地域課題解決型学習の開催
学習の拠点整備・ 情報システムの活用など、 生涯学習環境の充実に 取り組みます	1 ともに学ぶ生涯学習推進拠点となる施設の整備と機能の充実及び施設連携の強化 2 行政、民間、高等教育機関の連携による学習機会の提供 3 学習情報、学習者支援ネットワークの形成 4 高度情報化に対応した学習情報の提供と学習環境の整備 5 あらゆる世代への情報リテラシー(情報活用能力)及び情報モラル教育の推進	・各図書館の特色をふまえた地域の 交流・情報拠点としての機能の充実 ・産学官の連携による宇宙教育の推進 ・生涯学習情報の収集の強化と 発信方法の充実 ・石川中央都市圏における 教育・文化施設間の連携促進 ⑤・最新テクノロジーを身近に学ぶ 機会の充実 ・ICTを活用した学習環境の整備と 学びの成果の発信 ・オンラインと対面の両方の組み合 わせによるより豊かな学びの推進 ⑥・情報リテラシーに関する 相談体制の充実 ・⑤・情報格差の解消に向けた支援	 ◆ ・生涯学習の拠点となる中央公民館の再整備と地区公民館の機能の強化 ◆ ・里山教育、宇宙教育の拠点としてのキゴ山ふれあい研修センターの教育活動の充実・中央公民館や地区公民館、図書館、美術館等の連携強化 ◆ ・民間や高等教育機関など多様な主体が実施する学習情報の発信の強化 ◆ ・デジタル人材の育成に向けた学習環境の整備 ◆ ・あらゆる世代への情報リテラシー向上のための学習機会の充実・青少年を対象とした情報モラルの啓発
金沢らしい個性ある 5 学習文化都市づくりに 取り組みます	 1 伝統文化を未来へつなげる新たな文化創造のための学習の推進 2 美術館や博物館等を生かした学習の充実 3 金沢らしい学習文化財の新たな発見と活用 4 多文化共生をめざした「交流拠点都市金沢」の発信 5 市民の多彩な芸術活動への支援 6 教育・文化施設が集積した学習文化都市づくり 	・芸術活動の発信や 担い手の交流機会の創出	 常・身近な伝統文化や年中行事を通じた交流の促進 ☆・伝統芸能・文化・工芸の継承発展に向けた学習機会の提供 ・学習文化財としての価値を見出す郷土研究・地域研究の奨励 ⑤・ICTを活用した学習文化財の保存と活用 ・里山等での「五感」を使った自然体験活動の推進 ☆・異なる文化や習慣を知る機会の創出 ☆・外国人が滞在し生活しやすい取り組みの推進 ☆・芸術活動の多様な担い手の育成 ・創作活動の場の提供や、作品の発表に対する支援 ☆・金沢市及び近郊の高等教育機関との連携による生涯学習の推進 ・市の教育・文化施設の生涯学習への活用

取り組むべき施策の方向性

「めざす学びの姿」と改定版策定における新たな視点をふまえ、今後取り組むべき施策です。 表記について 顕新たな施策 図改定した施策 🛊 重点施策 🔘 デジタル社会に対応した施策

基本的方向性

すべてのライフステージにわたる 多様な学習ニーズへの対応に取り組みます

社会の変化や市民の多様な学習ニーズに対応した学 習機会が確保され、幼児から高齢者、障害のある人も 障害のない人も、市民の誰もが、どのようなライフスタ イル・ライフステージでも、生きがいのあるくらしを実現 するための支援を行います。



地区公民館等の学びの場の活性化により、市民が生活に身近な場所で自由な時間帯に、主体的に学習活 動を行うことができる環境の確保や、持続可能な社会づくりの担い手を育むための学習活動を推進します。

- ☆ 新 金沢SDGs[5つの方向性]の実現に向けた学習機会の充実 四 公民館職員を対象とした研修の充実
 - ・公民館の施設利用等の弾力的な運用
- ☆ 改 地域人材の育成と公民館運営への参画



基本施策の考え方 2 自主的な学習及び読書活動の推進

市民の豊かなくらし実現の一助とするため、幅広い知識の習得に向けて自主的な学習を行える機会 や場所の提供や、読書習慣の拡大等の取り組みを推進します。

- ・図書館主催のイベントや講座の開催及び関連図書の紹介
- ・大人の豊かな心のための読書習慣の促進
- ・ 気軽に利用できる学習機会と学習空間の提供 など



基本施策の考え方 3 職業観の醸成や新産業創出に資する学習機会の提供

産業構造や雇用状況、未就業者の就労に対する意識の変化に伴い、様々な年代でのキャリア教育*18 を推進するとともに、新しい産業の創出につながる学習機会の提供に取り組みます。

- ☆ ・ 若年層を対象とした職業観の醸成を促す学習機会の提供 政企業などと連携した新産業の創出につながる学習の実施
 - ・ 各種就職支援セミナーの開催 など

|基本施策の考え方 4 自己を高めるための学び直しへの支援

個人のスキルアップを図り、独創性を磨き、先端技術や経営感覚を身に付けることのできる多様な 学習機会を提供します。

- ・民間教育機関と連携した学習機会の提供
- 改 社会人が職業に必要な知識や技術を学べる機会の提供
- 新 学び直しの意欲を実践につなげるきっかけづくり など

基本施策の考え方 5 スポーツ活動の充実(金沢市スポーツ推進計画*19の具現化)

誰もがスポーツを多様に親しめる環境の整備や、スポーツで人とまちを元気にするまちづくりの推進 などにより、スポーツ活動の充実に取り組みます。

- ・ 多様なスポーツに親しむことができる機会の拡大
- *・子どもスポーツの充実
- スポーツ交流を通じたまちづくりの促進
- ・障害のある人等のスポーツ活動の促進と環境の整備



基本施策の考え方 6 心と身体の健康づくりに関する学習の推進

心身ともに健康な生活を送るためには、生活習慣の改善、自己管理、適度な運動、ストレスの解消 などが必要であり、学習の成果が実践につながる、健康づくりに関する学習を推進します。

- ☆ ごころの健康づくりやフレイル*20予防事業の充実
 - ・食育に関する講座の開設
 - ・自らが適切な健康管理を行える学習機会の提供
 - ・全てのライフステージにわたる心と身体の健康づくりへの支援

基本施策の考え方 7 障害のある人、高齢者、働く世代、子育て世代にも 学びやすい機会の提供

すべての人々が自己の学習意欲に従い、自由に学びの機会を得られるよう、物理的・精神的、時間的・ 空間的に障壁のない環境づくりを推進します。

- 新 ライフプランの見直しにかかる学習機会の提供
- ☆ 改 誰もが利用しやすい学習の場づくり
- ☆ 新 アクティブシニアの活動支援 など

 $^{^{*18}}$ キャリア教育/一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと

^{*19} 金沢市スポーツ推進計画/「スポーツ基本法」の基本理念に従うとともに、平成26年2月に策定された金沢市の「世界の「交流拠点都市金沢」に基づき、 金沢市民のスポーツライフの充実のため、先の精神を引き継ぐ第3次スポーツマスタープランとして平成27年3月策定

^{*20} フレイル/年をとって心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した虚弱な状態

青少年の育成のために 家庭・地域教育力の向上に取り組みます

金沢の将来を担う青少年が、他を思いやる心を育み、喜 びを実感し、ふるさとを愛することのできる人材として成長 校が連携し、一体となって青少年の育成を支援します。



|基本施策の考え方||1|| 青少年の主権者教育*21の推進

青少年が社会の中で自立し、地域の課題解決を主体的に担うことができるよう、直面する課題や社 会の多様な課題への対応力が身に付く教育を推進します。

☆ 改 発達段階に応じたシチズンシップ教育*22の推進 など

基本施策の考え方 2 地域で子どもを育てる意識向上活動への支援

現代の子育てをめぐる社会状況を踏まえ、子育て家庭の「支え」となる新しい人間関係、家族関係、 地域社会をつくりあげる必要があることから、社会全体が家庭における子育てや教育を応援し、支えて いくことを支援します。

♦ 図 地域の子供が地域で安心して学び、遊ぶことができるよう、地域の住民、組織が連携した 見守りを推進 など

基本施策の考え方 3 地方創生に向けた学生と若い世代の社会参画の推進

未来の金沢の担い手である学生や若い世代の社会参画を推進するため、地域住民との交流や地域活 動への参加を促進するとともに、学生や若い世代が行う自主的なまちづくり活動を推進します。

- ☆・地域社会への参画に向けた活動推進
 - ・自主的で創造的なまちづくり活動の支援
- 新青少年の都市間交流の推進
- 新 青少年の夢を実現するための仕組みづくり(多様な資金調達方法の活用など)
- 新 青少年活動(子ども会、青年団など)の活性化に向けた支援 など

■基本施策の考え方 4 ふるさとの自然や社会、文化、偉人に関する学習活動の推進

市民が郷土の自然や社会、文化や人を正しく理解し、誇りを持つことにつながる、多様な学習活動 を支援します。

- ★・地域の歴史マップづくり、偉人に関する学習による金沢への愛着と誇りの育成
- ☆ ・ 伝統文化の後継者・指導者の育成、学びの機会の提供
 - ・文化・芸術活動の支援 など

基本施策の考え方 5 人権教育など他を思いやる心を育む学習の推進

市民一人一人がお互いの人権を尊重し、差別をしない意識を醸成するとともに、誰もが自己の持つ 可能性を十分に発揮できるよう、他を思いやる心を育む学習活動や啓発活動を推進します。

- *・いじめ・問題行動防止を考える講座の開催
- ・ 人権学習・人権教育の推進

基本施策の考え方 6 学校、家庭、地域の連携促進による協力体制の推進

地域全体で子供たちを見守り、育成していくために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしな がら互いに連携し、一体となってより良い教育を推進する環境づくりを進めます。

- ☆ 図 地域学校協働本部*24を中心とした連携体制の構築
 - ・地域に開かれた学校づくりの推進
- 図 「金沢子どもかがやき宣言*25」の具現化に向けた家庭教育の推進

基本施策の考え方 7 子ども読書活動の推進

子供が豊かな人間性と社会性を身に付けていくうえで欠くことのできない読書の重要性と、読書がも たらす様々な効用を考え、子供の読書環境を整備します。

☆ 図 家庭、地域、学校、企業、行政の各主体における子ども読書活動の促進 図 玉川こども図書館の再整備 など

^{*21} 主権者教育/主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的 に担う力を育む教育

 $^{^{*22}}$ シチズンシップ教育/社会の一員として自立し、権利と義務の行使により、社会に積極的に関わろうとする態度を身に付けるための、社会形成・社 会参加に関する教育

^{*&}lt;sup>23</sup> 心のユニバーサルデザイン/障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう、あらかじめ都市や生活環境をデザイ ンする考え方。心のユニバーサルデザインは、すべての人に思いやりと優しさをもつこと

⁴ 地域学校協働本部/地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供 たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活 動(地域学校協働活動)を推進する体制として、平成27年の中央教育審議会の答申で提言されたもの

^{*&}lt;sup>25</sup> 金沢子どもかがやき宣言/平成27年1月に策定された「金沢市学校教育振興基本計画」 に掲げる 「めざすべき金沢の子ども像」 をわかりやすく、覚え やすい言葉で表現した、子供たちの考え方や行動の基本的な約束事としてまとめたもの

|基本施策の考え方||8||「めざすべき金沢の子ども像*26|の実現に向けた家庭教育の推進

金沢には、善隣館*27等にみられるような地域に根付いた子育て環境が培われています。また、近年、 地域や世代の枠を超えたグループやサークルなど、新しい親子のコミュニケーションを支える子育て活 動が生まれています。「めざすべき金沢の子ども像」を実現するためにも、このような活動の芽生えを 支えるとともに、親子活動の機会を積極的に支援します。

- ・ 喜びが実感できる子育て学習や、親の育ちを応援する学習活動の充実
- ☆ ・ 親子自然体験・宇宙体験活動の推進
 - ・子育て環境の充実に向けた新しい子育て活動の支援
- ☆ 様々な学びの格差解消に向けた支援
 - ・安心して子供を産み育てることのできるまちづくりの実現や、子ども会活動の推進

基本的方向性 3

市民参画と協働を推進するために学びの場の 創出に取り組みます

ともに学び、学びの成果が自己 実現へと結びつき、まちづくりへと 発展させることができるよう、地域 活動やボランティア活動への支援を 行います。



基本施策の考え方 1 市民の学びの成果の活用とボランティア活動の奨励

学習成果の活用が、個人の学習意欲の向上や生きがいにつながっていくことから、活用の場の提供 や、ボランティア活動への参加を促進する環境を整備します。

・生涯学習活動で得た学びの成果の発表や活用の場の提供

図 ボランティア活動の機会の提供や活動への支援(広報、養成研修、登録勧奨などの実施) など

基本施策の考え方 2 市民主体の学習による地域課題解決力の育成

地域住民が互いに協力し合いながら主体的に学習活動を進め、地域の活性化につなげる仕組みづく りを進めます。

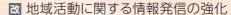
☆・「自己確立|「相互理解|「対等性|を踏まえた学習と実践

・図書館の機能を活用した課題解決支援など



「基本施策の考え方 3 地域コミュニティ活動への支援

地域において、介護や子育て、健康づくりのほか、生活全般にわた り行われている地域コミュニティ活動が果たす役割が大きくなっている ことから、活動の活性化を支援します。



新地域の各種団体の連携促進

新 気軽に地域活動に参加できる仕組みづくり など

基本施策の考え方 4 NPO、企業や市民と行政の協力・協働関係の構築

介護や子育て、健康づくりなど、様々な行政課題に円滑に対応していくため、地域で活動するNPO や企業、市民団体との協力・協働関係を構築します。

☆ 図 各団体の活動を総合的にコーディネートする体制の充実

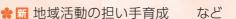
№ NPO、企業や市民との連携による事業の拡充 など

基本施策の考え方 5 地域づくり・まちづくりに関する学習の機会の提供

生涯学習で得た成果を地域やまちづくりに還元したいという市民ニーズの高まりに応えるため、地域 づくり・まちづくりに関する学習の機会の充実を図ります。

□ 福祉、環境、教育、まちづくりなどの地域課題解決型学習の開催

- 新 地域の防災意識高揚に向けた学習機会の提供
- ・学習成果を地域に還元する仕組みづくり





^{*26} めざすべき金沢の子ども像/金沢市の学校教育を通して、明日を生きぬき、社会を担うために必要となる多様な「心」と「力」を身に付けてほしいこ とから、より具体的な言葉で6つの子ども像を示したもの

[']善隣館/1934年 (昭和9年) から1960年 (昭和35年) にかけて、市内19カ所につくられた、生活相談や授産・託児、教育的な活動等を行った、地域 の福祉の拠点。現在は、デイサービスや保育所を中心とする施設として11館が残っており、地域に密着した活動が行われている



学習の拠点整備・情報システムの活用など、 生涯学習環境の充実に取り組みます

市民の誰もが、必要なときに価値ある学習を行えるよう、ICT を活用して学習情報を発信するとともに、市民が学びやすいよう、公民館や市民交流センターなど生涯学習環境の整備を図ります。





基本施策の考え方 1 ともに学ぶ生涯学習推進拠点となる施設の整備と 機能の充実及び施設連携の強化

学習の場を提供する生涯学習推進拠点の施設整備及び施設機能を充実させるとともに、学習カリキュラムの連携強化を図ります。

- ☆ 図 生涯学習の拠点となる中央公民館の再整備と地区公民館の機能の強化
- ☆ 図 里山教育、宇宙教育の拠点としてのキゴ山ふれあい研修センターの教育活動の充実図 中央公民館や地区公民館、図書館、美術館等の連携強化
 - 新 各図書館の特色をふまえた地域の交流·情報拠点としての機能の充実 など

基本施策の考え方 2 行政、民間、高等教育機関の連携による 学習機会の提供

学習機会を提供する金沢市、民間、高等教育機関が役割を明確にすることで、それぞれが固有の役割を果たすとともに、学習体制における連携強化を図ります。

- ☆ 新 産学官の連携による宇宙教育の推進
- ☆・民間や大学などの専門的教育機関の活用
 - ・ 高度化・多様化する市民の学習ニーズに対応できる学習体制の拡充 など

基本施策の考え方 3 学習情報、学習者支援ネットワークの形成

学習機会の拡充と学習活動への支援をするために、各種施設が有する学習情報や人材情報のネットワークを構築します。

- ☆ 図 民間や高等教育機関など多様な主体が実施する学習情報の発信の強化
- 新生涯学習情報の収集の強化と発信方法の充実
- ・生涯学習活動を行う団体やグループ、個人が交流できる場づくり
- 新石川中央都市圏*28における教育·文化施設間の連携促進 など

基本施策の考え方 4 高度情報化に対応した学習情報の提供と 学習環境の整備

市民が参加しやすい学習体制を拡充するため、ICTを活用した学習環境の整備と機能の充実を図ります。

- ★®は デジタル人材の育成に向けた学習環境の整備
- ® 最新テクノロジーを身近に学ぶ機会の充実
- ⑩・ICTを活用した学習相談や学習機会の拡充
- *® ICTを活用した学習環境の整備と学びの成果の発信
- ★®新 オンラインと対面の両方の組み合わせによるより豊かな学びの推進 など



基本施策の考え方 5 あらゆる世代への情報リテラシー (情報活用能力) 及び 情報モラル教育*29の推進

高度情報化への社会基盤が充実・発展していく中で、情報リテラシーや情報モラルの不足が問題となっているため、知識や能力向上のための学習機会を提供します。

- ★® あらゆる世代への情報リテラシー向上のための学習機会の充実
 - 改 青少年を対象とした情報モラルの啓発
- ◎新 情報リテラシーに関する相談体制の充実
- *◎新 情報格差の解消に向けた支援 など

22 23

^{*&}lt;sup>28</sup> 石川中央都市圏/石川県内の金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町の6市町で構成する圏域。 圏域全体で住みやすさの向上に取り組み、全ての人が輝き続ける圏域をめざしている

^{*29} 情報モラル/情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度のこと

金沢らしい個性ある 学習文化都市づくりに取り組みます

歴史と伝統に育まれた金沢固有の文化と、新たに 創造される文化を学ぶとともに、豊富な教育文化施 設を活用して「学習文化都市金沢」を創出します。













「基本施策の考え方 1 伝統文化を未来へつなげる 新たな文化創造のための学習の推進

金沢固有の伝統芸能・文化、伝統工芸を継承し、先端の文化と調和・融合しながら新しい文化を創造 してきた流れを受け、未来に向けた新たな文化の創造につなげる、市民の伝統文化継承の学習を推進 します。

- ☆ 図 身近な伝統文化や年中行事を通じた交流の促進
- ☆ 図 伝統芸能・文化・工芸の継承発展に向けた学習機会の提供
 - ・金沢の強みである文化に触れ、体験できる機会の創出など

基本施策の考え方 2 美術館や博物館等を生かした学習の充実

美術館や博物館、資料館等における博物資料に親しみ、資料が持つ歴史的・文化的・芸術的価値をあ らゆる世代が共有できる学習機会の充実を推進します。

- ・ミュージアムクルーズや展示解説の充実
- ・感性豊かな子どもを育てる美術館等での鑑賞活動の推進
- ・ 美術館や資料館等における参加型体験活動の推進 など

基本施策の考え方 3 金沢らしい学習文化財の新たな発見と活用

金沢の学習文化財である人材、施設・設備、教材・教具の新たな発見と活用を図ります。

- ☆ 学習文化財としての価値を見出す郷土研究・地域研究の奨励
- ® は ICTを活用した学習文化財の保存と活用
 - 図 里山等での「五感」を使った自然体験活動の推進 など

|基本施策の考え方 4 多文化共生をめざした | 交流拠点都市金沢 | の発信

生涯学習の分野でも国際化や文化の多様化に対応した学習環境の整備と機能の充実が求められてお り、金沢固有の伝統芸能・文化、伝統工芸の情報発信と市民の多文化理解、国際交流活動を推進します。

- ☆図異なる文化や習慣を知る機会の創出
- ☆ 図 外国人が滞在し生活しやすい取り組みの推進
- 🍁 ・ 金沢市民の多文化理解を深め、コミュニケーション能力を高めるための取り組みの推進
 - ・ 金沢の特長を生かした各種の交流活動の推進 など

基本施策の考え方 5 市民の多彩な芸術活動への支援

金沢では、日常のくらしや趣味・嗜好を高めるための市民による芸術活動が盛んに行われていること から、今後とも市民の多彩な芸術活動を支援します。

- ☆ 図 芸術活動の多様な担い手(実演家・団体・施設・鑑賞者など)の育成
 - 図 創作活動の場の提供や、作品の発表に対する支援
 - 新 芸術活動の発信や担い手の交流機会の創出 など







基本施策の考え方 6 教育・文化施設が集積した学習文化都市づくり

教育資産である教育施設と文化施設や、その学習財を相互に共有し、市民の学習の利便性を高める など効果的な学習文化都市づくりをめざします。

☆ 図 金沢市及び近郊の高等教育機関との連携による生涯学習の推進

改 市の教育·文化施設の生涯学習への活用 など





金沢市生涯学習振興基本計画の 推進体制

推進体制

金沢市生涯学習振興基本計画の実現にあたっては、本市の行政各部局、民間、さらには学校などが 生涯学習に対する共通理解を図りながら、一体となった取り組みを推進することが必要です。

(1)金沢市社会教育委員会議

各種団体、学識経験者等によって構成される金沢市社会教育委員の会議において、金沢市生涯学習 振興基本計画の推進にあたっての検討・アドバイスを受けるほか、本市の生涯学習全般にかかる協議・ 検討を行い、効果的な施策展開に努めます。

(2) 金沢市生涯学習推進連絡会議

市民が求める学習内容は、高度化・多様化していることから、関係部局と緊密な連絡調整を行いなが ら、効果的な施策展開を図る必要があります。

また、行政や民間との役割分担を踏まえ、行政としての役割を果たすことによって、各事業の取り組 みが有機的に結びつき、相乗的な効果を生み出すことが期待されます。

このため、関係部局との連絡調整を図る金沢市生涯学習推進連絡会議を開催し、施策の具体化に向 けた全庁的な体制づくりを進めます。

評価と見直し

本計画の推進にあたっては、計画(Plan)に基づいた実施(Do)だけでなく、取り組みの進捗状況を十 分に把握するとともに、その効果や成果を評価 (Check) し、必要に応じて積極的にその施策内容や計 画の見直し(Action)を図ることが必要です。

生涯学習を取り巻く環境や社会状況の変化に対応するため、計画を推進していく過程において、新 たな施策の展開、計画の見直しが必要となった場合は、柔軟に対応していくこととします。

また、社会教育委員会議や金沢市生涯学習推進連絡会議において検証を行い、効果的な施策等の 実践に努めていくこととします。



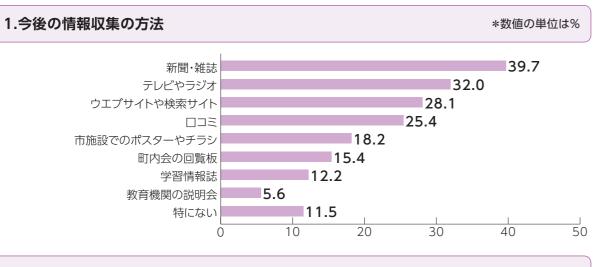
生涯学習に関するニーズ

参考としたアンケート

- 平成30年度「生涯学習に関する世論調査」(平成30年8月内閣府) 対象:全国18歳以上の日本国籍を有する者 3.000名 回答率:57.0%(1,710名)
- ② 高齢者の社会参加に関する意識調査(平成30年11月金沢市) 対象:市内に居住する60歳以上の住民 1,600名 回答率:59.2%(947名)

● 平成30年度 「生涯学習に関する世論調査」より

▶主な調査項目

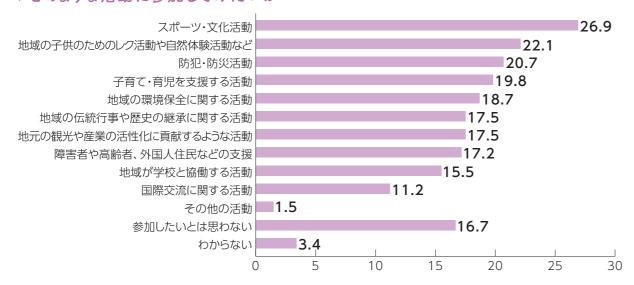


2.地域・社会活動に参加したいか

*数値の単位は%

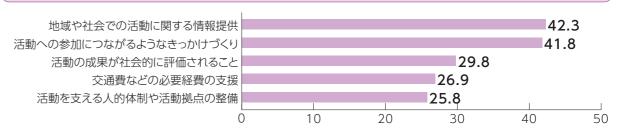
☑参加したい 79.9% ☑参加したいとは思わない 16.7%

▶どのような活動に参加してみたいか



3.多くの人が地域や社会の活動に参加するためにはどのようなことが必要か

*数値の単位は%



金沢市による考察

情報収集の方法については「メディアやウェブ」の回答が多いが、「口コミ」や、「掲示物(ポスター、 チラシ)」との回答もあり、メディアやウェブを活用しながら、多種多様な方法で情報や学習機会の 提供を行っていく必要がある。

地域活動に対しては、約80%が「参加してみたい」と回答しており、それらの方を積極的な情報 提供や働きかけによって、それぞれが関心をもつ分野での地域活動につなぐ工夫や取り組みが必

このため、「地域や社会での活動に関する情報提供」や「活動への参加につながるようなきっかけ づくり」によって、活動を促進していくことが大切である。

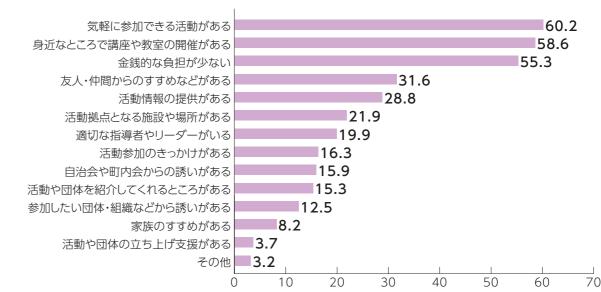
②「高齢者の社会参加に関する意識調査結果」より

▶主な調査項目

1.何かの活動に参加したいか

✓参加したい 82.5% ✓参加したいものはない 17.5%





3.この半年間に何の活動に参加したか

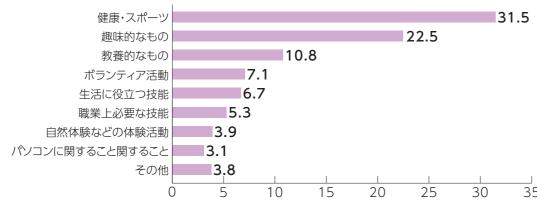
*数値の単位は%

☑参加 55.1%

☑活動・参加したいものはない 44.9%

▶参加した内容





▶参加しなかった理由

*「活動・参加したいものはない」と回答した方について

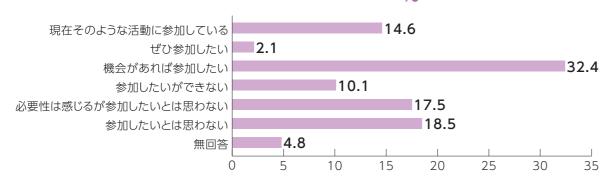


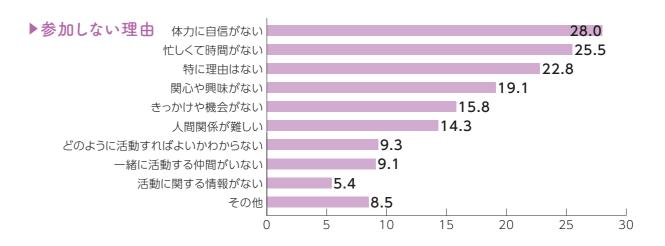
4.地域・ボランティア活動への参加

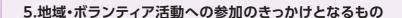
*数値の単位は%

☑参加している・したい 49.1%

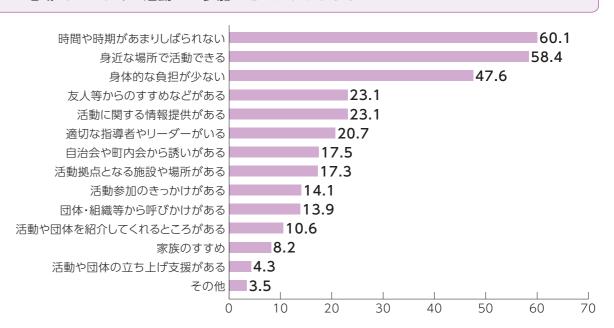
☑参加できない・したいとは思わない 46.1%







*数値の単位は%



※「『高齢者がかがやくまち金沢」金沢市アクティブシニア支援検討会」(平成31年2月より関連部分を要約)

趣味やスポーツなどの活動における課題

趣味やスポーツなどへの参加意欲は高いものの、実際の参加にはつながっていない。

動に関する情報が得られない」など、高齢者に対して、必要な情報がうまく届けられていないことが挙げられる。 今後、より多くの高齢者に趣味やスポーツなどへの参加を促すためには、教室の開催時間や場所など活動 内容をニーズにあったものに見直していくとともに、各種情報の発信方法やマッチングのあり方について検討 していく必要がある。

主な要因としては、時間的な制約や、自由な時間があっても「どのように活動すればよいかわからない」「活

地域活動、ボランティア活動における課題

約3割が「機会があれば参加したい」、約2割が「必要性は感じるが参加したいと思わない」と回答して おり、まずは、参加に向けた機運の醸成・啓発が必要であると考えられる。

また、参加のきっかけとなるものとして、「時間や時期があまりしばられないこと」「身近な場所で活動 できること」など、身体的な負担感の解消を求める意見が多いことから、負担感の解消に配慮した地域 活動、ボランティア活動のあり方について模索していくことも重要である。

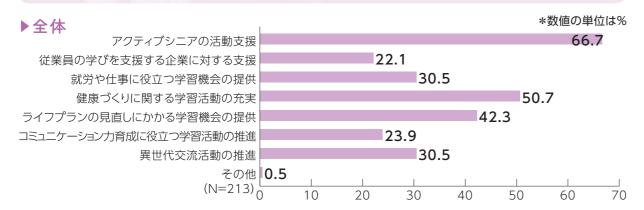
金沢市民アンケート調査

1.調査概要

生涯学習(に関するe-モニターアンケート調査	対象者数	250名
調査期間 令和2年3月3日~令和2年3月17日		回答者数	216名(回答率86.4%)

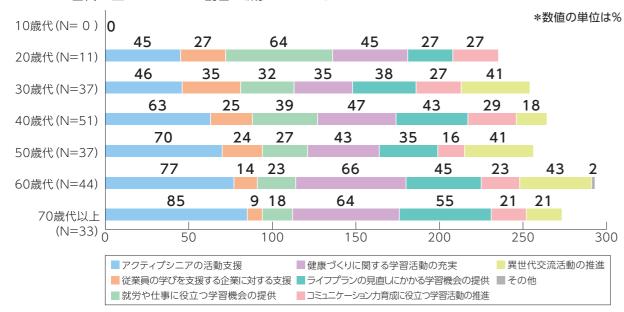
2.調査結果

今後5年間で、あらゆる世代の方が、それぞれの思いに応じて生涯学習活動を進め ていくときに、金沢市の取り組みとして、特に大切だと思うものは何か(3つまで選択)



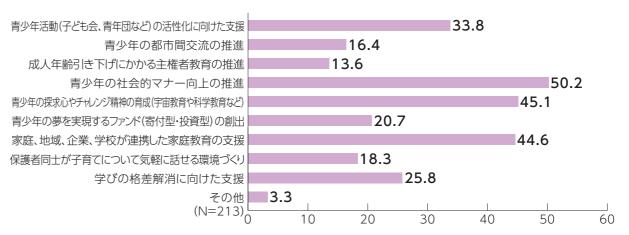
▶年代別

- あらゆる世代の方が、それぞれの思いに応じて生涯学習活動を進めていくときに、大切な取り組み として、「アクティブシニアの活動支援」、「健康づくりに関する学習活動の充実」、「ライフプランの 見直しにかかる学習機会の提供」が挙げられ、世代が上がるにつれて割合が上昇している。
- 一方、「従業員の学びを支援する企業に対する支援」、「就労や仕事に役立つ学習機会の提供」につい ては、世代が上がるにつれて割合が減少している。



今後5年間で、次代を担う青少年の育成のために、金沢市の取り組みとして、特に 大切だと思うものは何か(3つまで選択)

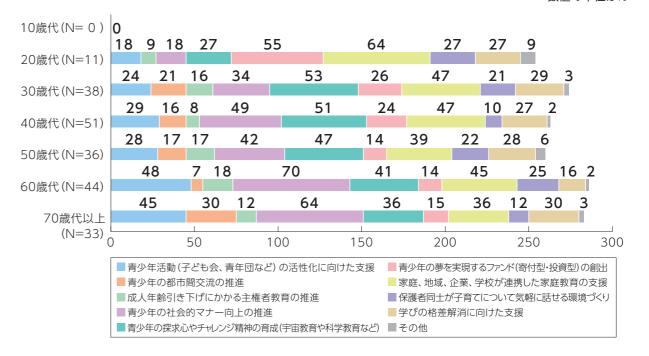
▶全体 *数値の単位は%



▶年代別

- 次代を担う青少年の育成のために、大切な取り組みとして、「青少年活動の活性化に向けた支援」、「青 少年の社会的マナー向上の推進 | については、世代が上がるにつれて割合が上昇している。
- ■「青少年の探求心やチャレンジ精神の育成」については、30歳代(53%)、40歳代(51%)、50歳代 (47%)と青少年の探求心とチャレンジ精神の育成が必要だと考えている割合が高い。
- 「青少年の夢を実現するファンドの創出」、「家庭、地域、企業、学校が連携した家庭教育の支援」に ついては、20歳代の55%、64%と高く、他の世代と大きく違いが見られ、夢を実現するための資金 や各方面との連携を重視していると考えられる。

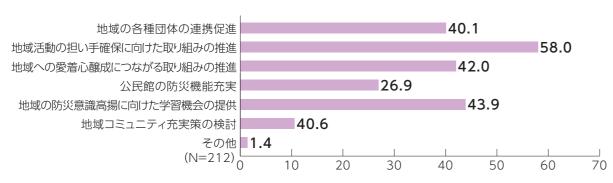
*数値の単位は%





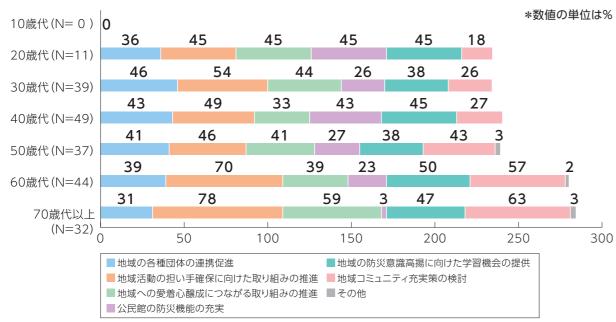
今後5年間で、市民と行政との協働の推進のために、金沢市の取り組みとして、 特に大切だと思うものは何か(3つまで選択)

▶全体 *数値の単位は%



▶年代別

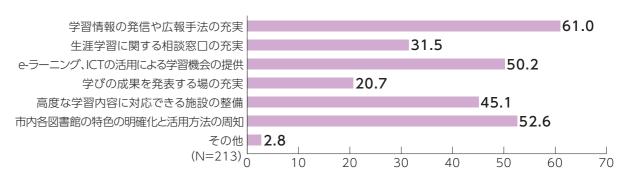
- 市民と行政との協働の推進のために、大切な取り組みとして、「地域活動の担い手確保に向けた取り組みの推進」、「地域コミュニティ充実策の検討」については、世代が上がるにつれて割合が上昇している。
- 「公民館の防災機能の充実」については、20歳代(45%)、40歳代(43%)の割合が他の世代と比べて 高い。
- 一方、「地域の防災意識高揚に向けた学習機会の提供」については、60歳代(50%)、70歳以上(47%)の割合が高く、ハードの整備よりも、地域の防災意識の高揚を重要視していると考えられる。





今後5年間で、市民がさまざまな場所で生涯学習を行う場合に、金沢市の取り組みとして、特に大切だと思うものは何か(3つまで選択)

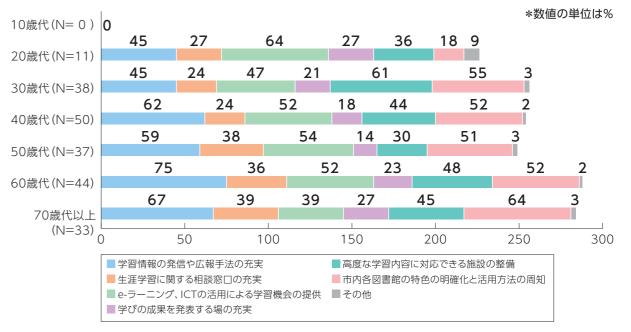
▶全体 *数値の単位は%



▶年代別

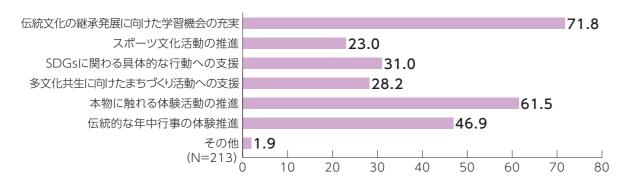
市民がさまざまな場所で生涯学習を行う場合に、大切な取り組みとして、「学習情報の発信や広報手法の充実」については、世代が上がるにつれて割合が上昇しており、学習情報の発信が生涯学習の機会になると考えられる。

- 「e-ラーニング、ICTの活用による学習機会の提供」は、20歳代が64%と最も高く、他の世代においても、半数近くの割合があり、ICTを活用した学習機会の提供の必要性は高いと考えられる。
- 「市内各図書館の特色の明確化と活用方法の周知」については、20歳代が18%と他の世代と比べて割合が低い。



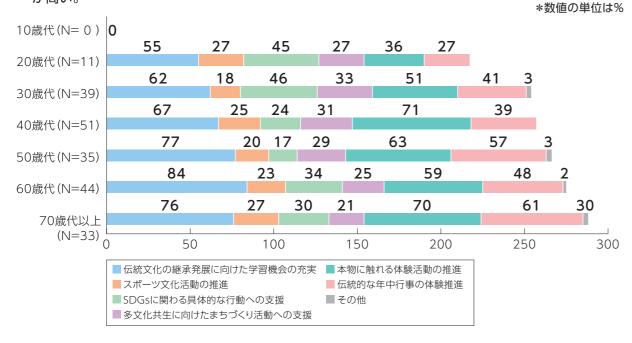
今後5年間で、金沢らしい個性あるまちづくりに向けて、金沢市の取り組みとして、 特に大切だと思うものは何か(3つまで選択)

▶全体 *数値の単位は%



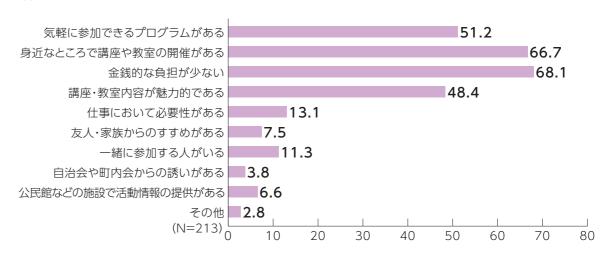
▶年代別

- 金沢らしい個性あるまちづくりに向けて、大切な取り組みとしては、「伝統文化の継承発展に向けた 学習機会の充実」、「伝統的な年中行事の体験推進」について、世代が上がるにつれて割合が上昇し ている。
- 「SDGsに関わる具体的な行動への支援」については、20歳代(45%)、30歳代(46%)の割合が高い。 一方で60歳代(34%)、70歳以上(30%)に対して、40歳代(24%)、50歳代(17%)の割合が低く、 SDGsの周知や実践が行き届いていない可能性が考えられる。
- 「本物に触れる体験活動の推進」については、40歳代(71%)、50歳代(63%)、70歳代(70%)の割合 が高い。



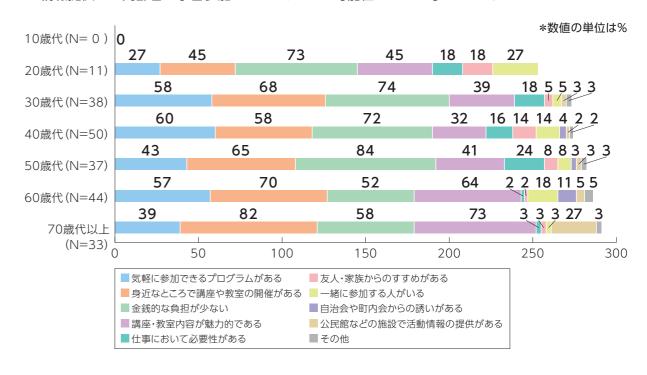
何かを学びはじめるとき、「きっかけ」となるもの(すでに活動している場合は「きっか けしとなったもの)は何か(3つまで選択)

▶全体 *数値の単位は%



▶年代別

- 何かを学びはじめるとき、「きっかけ」となるものとして、「身近なところで講座や教室の開催がある」、 「講座·教室内容が魅力的である」については、世代が上がるにつれて割合が上昇している傾向がある。
- 「金銭的な負担が少ない」については、全年代で割合が高く、特に20歳代(73%)、30歳代(74%)、 40歳代(72%)、50歳代(84%)の割合が高く、講座や教室の開催場所や内容よりも重視されている と考えられる。
- 「公民館などの施設で活動情報の提供がある」については、70歳以上が27%と最も高く、施設での 情報提供は、高齢者の学習参加のきっかけとなる可能性があると考えられる。

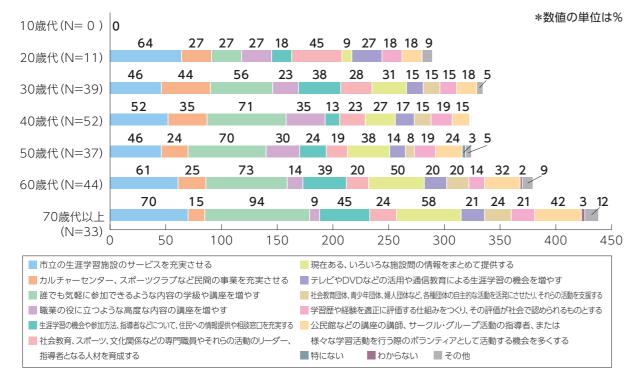


今後、金沢市民の生涯学習活動をますます充実したものとしていくためには、 どのような施策が必要か(上限なし複数選択可)

▶全体 *数値の単位は% 55.1 市立の生涯学習施設のサービスを充実させる 29.2 カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の事業を充実させる 69.9 誰でも気軽に参加できるような内容の学級や講座を増やす 23.1 職業の役に立つような高度な内容の講座を増やす 生涯学習の機会や参加方法、 30.1 指導者などについて、住民への情報提供や相談窓口を充実する 社会教育、スポーツ、文化関係などの専門職員や 24.1 それらの活動のリーダー、指導者となる人材を育成する 38.0 現在ある、いろいろな施設間の情報をまとめて提供する テレビやDVDなどの活用や通信教育による生涯学習の機会を増やす 18.1 社会教育団体、青少年団体、婦人団体など 15.7 各種団体の自主的な活動を活発にさせたり、それらの活動を支援する 学習歴や経験を適正に評価する仕組みをつくり、 17.6 その評価が社会で認められるものとする 公民館などの講座の講師、サークル・グループ活動の指導者、 または様々な学習活動を行う際のボランティアとして活動する機会を多くする 25.0 特にない 0.5 わからない 0.9 20 30 40 50 60 70 80

▶年代別

- 金沢市民の生涯学習活動をますます充実したものとしていくための施策として、「市立の生涯学習施 設のサービスを充実させる」については、全年代で割合が高く必要性が高いと考えられる。
- ●「誰でも気軽に参加できるような内容の学級や講座を増やす」、「現在ある、いろいろな施設間の情報 をまとめて提供する」については、世代が上がるにつれて割合が上昇している。



生涯学習関連団体等への聞き取り調査

1.調査概要

調査期間	生涯学習関連団体	令和2年8月23日~令和2年9月17日
砂重粉间	企業	令和3年1月4日~令和3年1月15日
++	生涯学習関連団体	18団体
対象	企業	7社

2.調査結果

▶主な意見

基本的方向性

すべてのライフステージにわたる 多様な学習ニーズへの対応に取り組みます

- SDGs「金沢ミライシナリオ」の地域別の取り組み目標の策定と実践
- SDGsを学ぶ機会を創出していく。金沢のサステナビリティ(持続可能性)をどう学びに転換していくかが重要
- 地域における人材(教員OB、育友会OBなど)の確保
- 中学生の就業体験、小学生の職場体験教室などの積極的な受け入れが必要
- 大学等との連携により、新しい知見の開発や社員のスキルアップを行う取り組みが必要
- 公共建築物等の見学ツアーなど、体験型の職業観醸成策の充実が必要
- 建築コンペや音楽コンクールなど、より多く学習の成果発表の場を設けることが必要
- 経営大学院や専門学校を整備し、経営に関する知識を学び、事業を発展させる力を身に付ける教育が必要
- 目的別にどこで学ぶべきか、どこで学ぶのが良いかなどの情報の見える化が必要
- 提供しようとする「学び直し」の目的を理解できるような、講座情報の丁寧な提供が必要
- 学校とも連携し、多世代がプレーできる「パラスポーツ」の普及促進
- 学習機会へのアクセスが困難な方へ学習機会を届けることが必要
- シニアの知的資源を生かせる人材バンクの機能が必要

基本的方向性 2

青少年の育成のために 家庭・地域教育力の向上に取り組みます

- 主権者教育は、子ども会ほかの地域においても取り組むべき
- 金沢市の公民館は小学校校下単位のため、中・高校生、大学生に地域活動に参画してもらうことが大切
- バリアフリーの考え方からユニバーサルデザインの考え方へ移行すべき
- コミュニティスクールや地域学校協働活動の活発化が大切
- 団体同士がつながり、イベントの参加者を増やすよう工夫が必要
- 子供の教育も大切だが、親や周囲の大人の教育が大切

市民参画と協働を推進するために学びの場の 創出に取り組みます

- 市民が学び、対話し、協働しながら、気づきや知識を得る環境の整備が必要
- 他団体の活動を知ることができる仕組みや、情報を共有する媒体が必要
- 交流・連携のために、各団体の横の繋がりを作る場が必要
- 団体を掛け持ちしている人がいるため、似通った団体を統合していく動きも必要
- 地域の状況に応じた柔軟な、生涯学習の提供が必要
- 全部ではなく、部分的にイベントに参加してもらうなど、参加しやすい工夫が必要
- 企業の社員が、地域の活動に企画段階から参加するなど、より深いかかわりや主体的な参加が必要
- パートナーシップを組みたいと思っている事業者と地域、公民館をつなげる事が必要
- リーダーの育成、地域活動の活性化が必要。子供にリーダーの素晴らしさを見せる事が重要
- 育友会やPTAと、他の地域活動との有機的なつながりが必要

基本的方向性 **4**

学習の拠点整備・情報システムの活用など、 牛涯学習環境の充実に取り組みます

- 各地区公民館において情報化への対応が必要
- 産学官の連携を強め、人的交流を深める場や連携の仕組みづくりが必要
- 各団体の役割を明確化、一覧化し、わかりやすく提示することが必要
- オンライン化への対応のため、通信設備の整備拡充が必要
- ICT技術は地理的なハードルを下げるため、会議、ミーティングなどでは積極的に利用すべきだが、 イベントや活動についてはリアルな人と人とのつながりを大切にすべき
- デジタルとアナログの共存でのつながりづくりなど新しい生活に対応した事業の創造と構築が必要
- 学習機会について、対面での学びを重視しながらも、オンラインによる学びや、学びの積み上げを 学習者が自己確認できるような方法の検討が必要
- 24時間365日受講可能な無料セミナーの開催など、身近な学習環境の提供やICTに対する助成金 制度の整備が必要

基本的方向性 5 金沢らしい個性ある 学習文化都市づくりに取り組みます

- 祭りなどの全世代が参加する地域行事は、練習や引き継ぎを含め、多世代間の交流と絆が育まれる ため、担い手が育つ機会として重要
- 郷土の歴史・伝統・文化を支える一員であることをあらゆる世代が自覚するために、郷土の歴史を知 る機会をつくることが必要
- 交流のためではなく、ともに生活をしていくための「外国人の文化や考え方」を知る機会を充実
- 外国人住民と日本人住民同士で教え合える仕組みづくりが必要
- 観光で訪れた外国人の視点ではなく、市内在住の外国人の視点を考慮すべき
- 工芸や美術の楽しさを実感できる体験が必要

金沢市生涯学習振興基本計画改定の経緯

開催・実施期間	検討経緯	検討内容	
令和元年11月29日	令和元年度 第2回社会教育委員会議	•中間評価	
令和 2 年 2 月26日	第3回社会教育委員会議	・中間見直しの留意点	
令和2年7月3日	令和2年度 第1回社会教育委員会議	・課題整理 ・改定後の主な取り組み施策	
令和 2 年10月14日	第2回社会教育委員会議	・改定版(骨子案)	
令和 2 年12月 8 日~ 令和 3 年 1月 8 日	パブリックコメントの募集		
令和 3 年 1 月29日	第3回社会教育委員会議	・パブリックコメント結果報告 ・改定版(案)	

金沢市社会教育委員名簿(敬称略)

_	_			A
委	員●	関戸	正彦	金沢市公民館連合会会長
委	員	荒井	浩志(後任)	金沢市中学校校長会会長
委	員	能波	裕司(前任)	金沢市中学校校長会会長

金沢市校下婦人会連絡協議会会長 能木場由紀子

智広(前任) 金沢市青年団協議会会長 河﨑 宮田 悠佑(後任) 金沢市青年団協議会会長 寛敏 金沢市子ども会連合会会長 宇田 直人 金沢市PTA協議会会長 米沢 金沢市スポーツ協会会長

学識経験者(金沢商工会議所・副会頭) 蚊谷 八郎(前任) 委 員 愉加(後任) 学識経験者(金沢商工会議所・女性会理事) 委員 希雷 学識経験者(北陸学院大学教授・社会学) 委員 桑村佐和子 学識経験者(金沢美術工芸大学教授・教育学)

委員 齊藤佳都美 公募委員 公募委員 竹口 雄治

● 議長 ※役職名は会議当時のもの



金沢市生涯学習振興基本計画(改定版)

令和 3年3月 改定

金沢市教育委員会 生涯学習課

〒920-8577 金沢市柿木畠1番1号 Tel 076-220-2441 Fax 076-220-2488 E-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp